

事務事業名	八田消防署運営事務経費		所属部局	消防本部		単位番号	13007									
			所属課室	八田消防署		課長名	功刀秀樹									
	☐ 実施計画事業		所属担当			担当者名	上野 潤									
基本政策	基本計画体系	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政 策		安全な環境づくり	事業区分	01	一般	0	9	0	1	0	1	0	3	0	0	9
施策		防災体制の充実		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 15 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）		法令根拠	消防組織法・南アルプス市消防署組織規定												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳（22年度）												
	南アルプス市消防署組織規程に基づき、八田消防署運営に要する事務費用			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)												
	事務消耗品及び生活日用品購入費			消耗品費 177 自動車重量税 80												
	事務及び日用品備品等購入費			修繕料 303												
	八田消防署車両消耗品購入費			手数料 18												
	八田消防署車両点検整備費			自動車保険料 9												
	八田消防署車両点検時の手数料・保険料・重量税			その他備品購入費 34 計 621												

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	事務事業の概要のとおり
23年度活動予定	事務事業の概要のとおり
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	
八田消防署配置職員 八田消防署配置車両	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
事務用品、日用品等の購入及び消防車両の消耗品購入、点検整備をすることにより、職場環境の整備及び出勤態勢を整える。	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害による被害を軽減し、傷病者の搬送を適切に行い安寧秩序を保持し、福祉の増進に資することを目的とする。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 支出件数	件
イ: 購入品	個
ウ: 車両整備	台
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 八田消防署配置職員	人
イ: 八田消防署配置車両(延べ車両)	台
ウ:	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 点検整備車両	台
イ:	
ウ:	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア:	
イ:	

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	1,467	621	649	624	680	640	
	事業費計 (A)			千円	1,467	621	624	680	640	0
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間	360	360	360	360	360	360	
		人件費計 (B)	千円	1,606	1,606	1,426	1,426	1,426	1,426	0
		(A) + (B)	千円	3,073	2,227	2,075	2,050	2,106	2,066	0
活動指標	ア	件		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
	イ	個		112.0	68.0					
	ウ	台		9.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	
対象指標	ア	人		25.0	25.0	18.0	19.0	19.0	19.0	
	イ	台		5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
	ウ									
成果指標	ア	台								
	イ									
	ウ									
上位成果指標	ア									
	イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成15年4月1日6町村の合併により、南アルプス市消防本部となり、以降、八田、白根、芦安地区を管轄する八田消防署の運営事務経費として執行している。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	厳しくなる財政状況は、消防においても同様であり、火災・救急出場等に影響しない部分の経費の節約
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	特に無し。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	消耗品等の在庫管理の徹底と見直しを行い、購入品目の精査を行っている。又、車両及び資器材については、取扱い方法の検討を重ね丁寧な扱いを徹底している。
H 22年度に実施した改革改善の内容	同上

事務事業名	八田消防署運営事務経費	所属部	消防本部	所属課	八田消防署
-------	-------------	-----	------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 消防力の強化、組織の充実に役立っている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 市町村消防は、消防組織法第8条で当該市町村が費用負担しなければならない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】 現状の八田消防署の運営事務経費として妥当。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある 【理由↓】 ☐ 向上余地がない 【理由↓】 消防署の運営経費の為、手法を変えることで、成果の向上を期待することは難しいが、強いて上げるなら消耗品及び車両管理の方法について検討する余地は考えられる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☒ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☒ 統合・連携ができない 【理由↓】 署別の運営事務経費の為、署ごとの独自性を保つ必要がある。 ☐ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 八田消防署の運営に支障をきたし、結果として消防力が低下する。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 左記のとおり。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 八田消防署の組織運営、消防力の維持等の視点から見てこれ以上削減は、出来ない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 教育を通して身に着けた消防独自の業務であり、臨時職員や外部委託して簡単に出来る業務ではない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 適当である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	八田消防署運営に要する事務費用であり、事業は必要である。費用の削減は活動に支障が出る。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性、 の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果																						
		コスト削減優先度評価結果																						